



わたしたちの 大網白里市



【P23～24 解説シート】③

むかしの市のようにすをつたえるものに、どのようなものがあるのかな？

南玉不動尊(みなみだまふどうそん)の滝(たき)

山の中ほどからわき出ている清水(しみず)を清岸寺(せいがんじ)まで引き、りゅうの口から滝として流しています。昔は、すんだ川やプールなどがなかったので、夏の子どもたちの遊び場として、屋台が出るほどにぎわったそうです。

出典：大網白里市教育委員会「わたしたちの大網白里市」平成29年



青い文字をクリックすると該当ページにリンクしています。

【博物館】⇒【大網白里市の文化財】⇒[【南玉不動尊の滝】](#)

【資料室】⇒【大網白里町史】⇒[【南玉不動尊の滝】](#)

【歴史学習のポイント】

市指定文化財は、市民にとって後世に残すべき大切な財産です。それだけではなく、観光資源として市外からも見学に来る人が多くいます。南玉不動尊の滝は、古来は信仰の対象であり、現在でもパワースポットや癒やしの場所として人気を集めています。